



豊東小だより

令和3年7月1日 7月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

あたたかい心もち 人と協力する子ども をめざして (本校教育目標 重点目標)

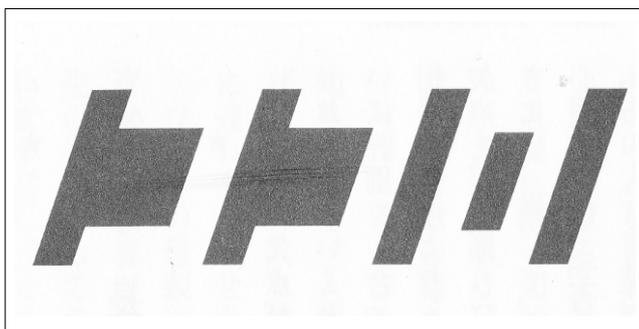
副校長 渋谷 正芳

桜の花が咲き誇る中での始業式、入学式から早3か月。職員室から出てみると、今では、青葉が梅雨を受け、夏の陽の光を求め、ぐんぐんと生長しようとたくましい輝きを放っています。また、新たなスタートを切った豊玉東小の子供たちも、校庭で仲良く遊んだり、真剣な眼差しで学習したりと校歌の「すこやかにのびる 我ら」のように成長しようと輝いています。1学期も残すところ1か月。この1学期間、全教職員が教育目標の「あたたかい心もち 人と協力する子ども」の育成と「心をわくわくさせて学ぶ子ども 心を磨き合う子どもをみんなで育てる(学校経営方針目指す児童像)」に向けて取り組んでまいりました。

5月の「いのちと人権を考える月間」、6月の「ふれあい月間」では、豊かな人間性の育成を目指し、自他の生命を尊重する心を育む活動に取り組んできました。今後も、自尊感情や自己肯定感を高め、生命にかかわる重大な事故やいじめ・不登校の未然防止を図っていくことに努めてまいります。

自己肯定感を高めるヒントとして

「この絵 なにが見えますか？ 大切なものです。」



大切なものが見えない理由として、以下のことが考えられます。

黒い部分を短所、白い部分を長所としましょう。

黒い部分(短所)に自分の注意や意識が向き、白い部分(長所)に、注意が向かず、意識していないことがあげられます。自分の短所ばかりに目がいき長所が何なのかよく分からない。また、周囲もその子の長所をあまり意識していないと自己肯定感も高まりません。長所を意識して見ると大切に育みたいものが見えてきたと思います。

「本当に大切なもの」

本当に大切なものは何か。私は、星の王子さま(サン・テグジュペリ作)の一説が浮かびました。

「さっきの秘密をいおうかね。なに、なんでもないことなんだよ。心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。かんじんなことは、目に見えないんだよ」(星の王子さまより)

本当に大切なものを見付けるには、感じる心を育まないとなりません。相手のことを思いやること、命を大切にすること、がんばろうとする意欲をもつこと等は、すべてが豊かな心で感じたことを素直に行動に移していくことと思います。自分や仲間のよさを認め合える豊玉東の子、誰もがかけがえのない一人であることを実感できるよう取り組んでいきますのでご家庭でも「心こそ大事」のご指導のご協力をよろしくお願い致します。

～いのちと人権を考える月間、ふれあい月間に関わる本校の事業～

- 1 あいさつ運動を通して、あいさつ指導を徹底し、子供を教室で温かく迎えます。
- 2 教科道徳の授業を工夫します。
- 3 これまでの担任等による様子の把握に加えて新たなアンケート(Q-U)を2年生以上で実施します。
- 4 スクールカウンセラー、心のふれあい相談員による3年生、5年生の全員面接を行います。